



農業公社 ニュース

(第 36 号)

去年は、記録的な猛暑と局地的な大雨など地球温暖化の影響を強く実感させられた夏でした。今年は極端な猛暑はないものの局所で警報級の大雨が降るなどまだまだ気は抜けません。そんな中、牛たちにとって大切な1番牧草は無事収穫が終了し、2番牧草の生育も平年並みに進んでいるようです。当公社の草地整備も繁忙期を迎え作業機もフル稼働しています。現場作業が多い当公社では、今年も熱中症対策として厚労省のクールワークキャンペーンに取り組んでいます。このさきも安全第一で作業を実施してまいります。

それでは「農業公社ニュース」第36号をお届けいたします。



■ 第23期役員体制がスタートしました

去る6月25日(木)に開催された定時評議員会において、第22期役員の任期満了に伴う新役員が選任され、理事12名、監事2名による第23期役員体制がスタートいたしました。また、この後開催された臨時理事会において、常勤役員(理事長、副理事長、常務理事、専門理事)が選定され、3期6年務めてこられた宮本英靖副理事長が退任し、新たに前ホクレン副会長の橋本弘幸氏が就任いたしました。新たな体制のもと、公社役職員一丸となって心新たに頑張って参りますので、今後ともよろしく願いいたします。



▶ 退任される
宮本副理事長に
感謝の花束贈呈

◀ 定時評議員会で
新役員体制が決定



【総務部】

■ 北海道新規就農フェア開催！ 北海道 DE 農業をはじめる！
～今年は「赤れんが庁舎」で 154 人のご来場をいただきました～

7月25日（土）、北海道新規就農フェア（主催：公社、道農政部）を開催しました。道内64市町村のみなさんと、就農をめざす人や農業に興味がある人をお迎えし、地域の特色や支援の情報、就農までのステップを発信しました。当日は、会社員や学生ら154人が道内外から、また、近年増えている外国の方もご来場されました。

今年の夏は、「赤れんが庁舎リニューアル1周年記念サマーフェスタ2026」としてフェアを通してたくさんの就農情報を発信。周辺にはキッチンカーが並び賑わいを見せていました。

北海道で農業への夢をもった方々と各地域の担い手センターの皆さまとのより良いマッチングのために、これからも様々なことにチャレンジして参ります。

次回のフェアは、令和9年3月6日（土）ホテルポールスター札幌で開催します。



▲
今年は赤れんが庁舎で開催



▲
熱心な就農相談

【担い手支援部】

■ 北海道農業担い手育成センター事業等推進会議
～道内の地域担い手センター等と連携を図りました～

7月15日（水）公社本所会議室において令和8年度の推進会議をハイブリッド方式で開催しました。道内の地域担い手センターをはじめ、JAや関係機関・団体等より224名の参加があり、センター事業の説明や関係機関からの情報提供、チャットも含めた意見交換を行うなど、盛会のうちに終わることができました。

今年度も、皆さまとの連携を図りながら、農業経営・就農支援に取り組んでまいりますので、ご協力よろしくお願いします。



▲
会議室とオンラインによるハイブリッド開催

【担い手支援部/農業経営相談室】

■ 農地中間管理事業評価委員会を開催しました

去る6月11日（木）、令和7年度の農地中間管理事業の実施状況を評価するため、外部有識者で構成する「農地中間管理事業評価委員会（委員長：東山 寛 北海道大学大学院教授）」（第20回）を開催し、令和7年度事業実績に対する評価や、令和7年度から原則として機構経由による権利設定へ移行したことに伴う対応等について、ご意見をいただきました。

評価委員からは、事業量の増大や制度移行に伴う支出増加を踏まえ、業務の効率化や外部委託の活用などにより収支均衡に向けた改善を図る必要があること、売買需要の高さなど北海道特有の事情を踏まえ、現場で利用しやすい制度や運用への見直しが必要であること、農地中間管理事業が本来の目的に沿って機能するよう、現場の課題を踏まえた制度改善が求められること、さらに、基盤整備や新規就農者・担い手確保との連携を強化し、農地の円滑な権利移動と維持・活用を進めていくことが重要であることなど、多岐にわたるご意見をいただきました。

当公社では、これらのご意見や評価を今後の事業推進に反映していくとともに、今回の評価委員会の結果を踏まえ、農地中間管理機構として関係機関・団体との連携を図りながら、引き続き事業の推進に努めてまいります。

なお、「令和7年度農地中間管理事業に係る評価意見書」については、当公社ホームページに掲載しておりますのでご参照ください。

 <https://www.adhokkaido.or.jp/files/00000000/00000085/20260624102905.pdf>

評価委員会での審議 ▶



【農用地部】

■ 新十津川町農業委員会との研修会・意見交換会の開催

去る6月22日（月）、新十津川町農業委員会の皆様が来社され、当公社が所管する事業の研修会を開催しました。

会の冒頭で宮本副理事長より農業情勢に関する講話をいただいた後、農地中間管理機構事業について、昨年度の事業実績や今後の事業実施の方向性などを地域の実情や傾向を踏まえて説明し、参加者との意見交換を行いました。

また、担い手支援対策の現状と課題について、白旗本部長より説明を行い、担い手の確保・育成に向けた取組等について活発な意見交換を実施しました。

意見交換では、農地売買等事業に係る手数料に関する質問や、担い手対策における水田地帯での新規就農の状況などについて意見が交わされ、参加者相互の理解を深める有意義な機会となりました。

当公社といたしましては、今後も関係機関との連携を密にしながら、農地中間管理事業及び担い手支援対策の推進に努めてまいります。



▲
新十津川町農業委員会との
研修会、意見交換会

【農用地部】

■ 全道的な稼働調整で工事完遂を目指します ～良質な牧草地づくりに向けて～

令和8年度も夏本番を迎え、農用地開発整備事業は繁忙期に入り、各地で工事が本格化しています。

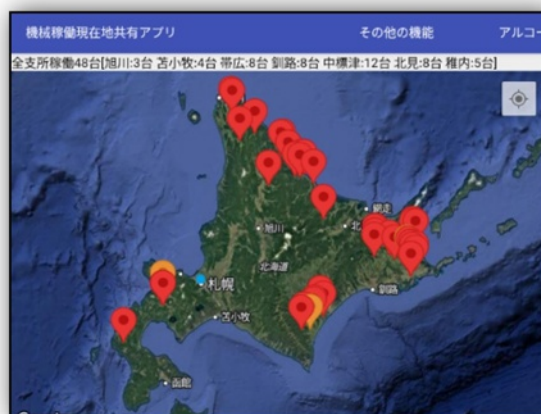
牧草の生育状況については、北海道の発表によると、一番草の収穫は終了し、二番草の生育は平年並みに進んでいると報告されています。

近年は、異常気象や気候変動の影響により、集中豪雨や線状降水帯の発生などによる自然災害が頻発しています。当会社では、こうした天候不順による工事の遅延に対応するため、全道の工事進捗状況をリアルタイムで把握し、その情報を基に機械や職員の応援派遣を行うなど、全道的な稼働調整を図りながら事業を推進しています。

良質な粗飼料の確保につながる優良な牧草地づくりに向けて、職員一丸となり、播種晩限である9月中旬頃までの工事完了を目指しています。

引き続き、安全を最優先に、一つひとつの工事を着実に進め、確実な完成へとつなげてまいります。

全支所の機械稼働状況を
アプリで一元化 ▶



播種晩限までの工事完了
を目指して施工中！ ▼



【農場整備部】

■「令和8年度 第1回労働安全衛生強調旬間」で安全意識の向上

全国安全週間（令和8年7月1日～7日）に合わせて、「令和8年度 第1回労働安全衛生強調旬間」を設定して、職場での安全に対する意識を高め、安全に働くことができる職場環境を築くための活動に取り組みました。

【公社】令和8年度 第1回労働安全衛生強調旬間

準備期間 6月1日（月）～30日（火）

本 期 間 7月1日（水）～10日（金）

＜全国安全週間スローガン＞

多様な人材 全員参加 みんなで育てる安全職場

◇主な取組内容

＜安全旗の掲揚＞



＜安全衛生研修会＞



＜DVD視聴＞



＜安全パトロール＞



【統括労働安全衛生委員会】

■「STOP！熱中症 クールワークキャンペーン」（厚生労働省主催）に取り組んでいます

今年度も、現場作業が多い公社職員を熱中症から守る取組みを取り進めています。

STOP！熱中症 クールワークキャンペーン

実 施 期 間 5月1日（金）～9月30日（水）

※事業者による熱中症対策は義務化されており、今年も予防措置と応急措置による熱中症対策に努めています。

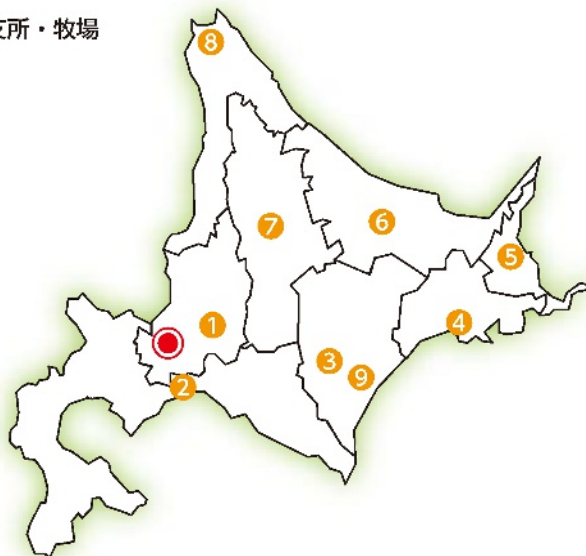
○予防措置（暑さ指数計による危険度の把握と適切な休憩）

○応急措置（速やかな作業中断と救急車の手配）

【統括労働安全衛生委員会】

本所・支所・牧場所在地

● 本所 ①～⑨ 支所・牧場



本 所

〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目1番地23
TEL. 011-241-7551 (代表) FAX. 011-271-3776
<https://www.adhokkaido.or.jp>



監 査 室

TEL. 011-241-7557

農業経営相談室

TEL. 011-522-5579

農場整備部

TEL. 011-241-7554

総 務 部

TEL. 011-241-7551

農 用 地 部

TEL. 011-241-5751

畜 産 部

TEL. 011-241-5761

担 手 支 援 部

TEL. 011-271-2255

農 村 施 設 部

TEL. 011-241-5701

統括労働安全衛生委員会

TEL. 011-241-7557

支所・牧場

① 岩見沢支所

〒068-0025 岩見沢市5条西5丁目2番地1 空知農業会館
TEL. 0126-23-2178 FAX. 0126-23-4260

② 苫小牧支所

〒053-0021 苫小牧市若草町5丁目5番3号 日胆農業会館
TEL. 0144-32-8171 FAX. 0144-32-3215

③ 帯広支所

〒080-0022 帯広市西12条南6丁目3番地1 農協連ビル
TEL. 0155-65-0607 FAX. 0155-33-1503

④ 釧路支所

〒085-0018 釧路市黒金町12丁目10番地 釧路農業会館
TEL. 0154-22-1538 FAX. 0154-25-4798

⑤ 中標津支所

〒086-1007 標津町中標津町東7条南1丁目1番地2 根室農業会館
TEL. 0153-72-3296 FAX. 0153-73-2080

⑥ 北見支所

〒090-0833 北見市とん田東町617番地 オホーツクJA B.dg.
TEL. 0157-25-2826 FAX. 0157-25-9188

⑦ 旭川支所

〒070-0030 旭川市宮下通4丁目2番5号 JA 上川ビル
TEL. 0166-25-2613 FAX. 0166-26-3464

⑧ 稚内支所

〒097-0001 稚内市末広4丁目2番31号 宗谷農業会館
TEL. 0162-33-3321 FAX. 0162-33-7339

⑨ 十勝育成牧場

〒089-2261 広尾郡大樹町字尾田708番地
TEL. 01558-7-5121 FAX. 01558-7-5159